



## エコマークアワード 2015

受賞団体・評価コメント

### BRONZE PRIZE

銅賞

#### 株式会社PFU

イメージスキャナ ScanSnapシリーズ、fiシリーズの普及・活用推進による環境負荷低減の取組み

イメージスキャナ ScanSnapシリーズ、fiシリーズは、2014年5月に制定された基準で新たに認定対象となったスキャナでの第1号認定商品である。企業として、主力商品であるイメージスキャナの環境配慮を通じて社会に貢献することを方針に掲げ、いち早く海外の国際エネルギープログラムやアメリカ EPEAT などの環境基準を満たすことにチャレンジするなど、飽くなきエコデザインへの追求と着実な進化が高く評価された。さらに、これらの環境配慮した製品づくりの集大成としてエコマークを取得し、幅広い機種で展開。エコマークを自社の環境配慮のアピールに活用し、製品カタログやウェブサイトでの表示、イベントでの展示などを通して認知度向上に努めている。

#### 株式会社山下工芸

自然で自然を支える箸プロジェクト

大分県にて、放置された竹林の竹や資源として活用されず廃棄物となる間伐材を有効活用し、森林資源の浪費や放置竹林の拡大を防ぐ「間伐材・放置竹林グリーンプロジェクト」を展開している。プロジェクトの一環として、放置竹林の竹を使った箸にてエコマーク認定を取得し、エコマークの認知度向上に努めている。プロジェクト商品1点購入につき1円を環境保護団体等への寄付する活動や、商品の検品・梱包における社会福祉施設との協業などによりソーシャルビジネスを推進しており、環境配慮の取り組みを社会的な貢献へとつなげている。環境配慮商品を選択することで消費者が社会的に貢献できるコーズマーケティングの好事例である。

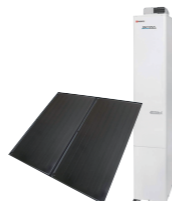
### PRODUCT OF THE YEAR

プロダクト・オブ・ザ・イヤー

#### 太陽熱利用ガスふる給湯暖房システムXFシリーズ

[認定番号: 14 154 001] 株式会社ノーリツ

XFシリーズは、太陽の熱エネルギーとガスを組み合わせた、床暖房、風呂給湯も可能な高機能タイプの太陽熱利用システムである。コンパクトで軽量のソーラーパネルとスリムなデザインの貯湯タンクにより、狭小な場所でも設置が可能なサイズを実現。高効率95%のエコジョーズを補助熱源として内蔵し湯切れを起こさず使用ができるだけでなく、太陽熱を床暖房に利用することも設定できるなど、高い環境配慮性能を有している。また、太陽熱モニターでCO<sub>2</sub>削減量や集熱量のグラフを表示し、普段の生活における消費者の省エネに対する意識の向上に貢献している。さらに、従来給湯機に比べCO<sub>2</sub>を約3割削減できるだけでなく、一般社団法人ソーラーシステム振興協会による優良ソーラーシステム認証、鉛などのRoHS指令の対象有害物質の規制もクリアした様々な環境配慮がなされている商品として高く評価された。



[認定番号: 14 154 001]



エコマークアワード賞状



エコマークアワード  
受賞ロゴ

「エコマークアワード」トロフィデザインについて  
蛍光管の再生ガラスで作られたリングによって「人々の叡智による循環」というテーマを表現。受賞された企業や団体、そして全ての関係者が、より積極的な活動を続けるためのシンボルになることを願ってデザインされています。

賞状・トロフィデザイン: GKグラフィックス 木村雅彦氏



エコマークアワードトロフィ



## ECO MARK AWARD 2015 エコマークアワード 2015

エコマークアワードは、公益財団法人日本環境協会が2010年度に創設した表彰制度です。

エコマーク商品をはじめとする環境配慮商品(以下、エコマーク商品等)の普及に関する優れた事例を広く公表するとともに、エコマーク商品等のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としています。

2016年2月24日

JAPAN ENVIRONMENT ASSOCIATION  
公益財団法人日本環境協会



エコマークアワード 2015 ウェブサイト:  
[www.ecomark.jp/award/2015](http://www.ecomark.jp/award/2015)

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局  
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階  
Tel: 03-5643-6255 Email: info@ecomark.jp



## エコマークアワード 2015

受賞団体・評価コメント

### 「エコマークアワード 2015」選考委員長 講評

第6回目となる今回は、金賞1団体、銀賞2団体、銅賞4団体、そしてプロダクト・オブ・ザ・イヤー1商品が選ばれました。今回は最終消費者向けの商品だけでなく、企業間で取引されるBtoB商品でありながらも、消費者の環境意識の向上につながる取り組みが多く選ばれました。中には、高付加価値化を実現した資源循環や地域環境や福祉への貢献にもつながる素晴らしい取り組みもありました。事業者、消費者、地域が一体となって進める環境配慮型社会の形成にエコマークがさらに活用されることを期待いたします。



筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授 西尾チヅル氏

### 「エコマークアワード 2015」選考委員のご紹介

伊坪 徳宏 東京都市大学 環境学部 教授

奥山 祐矢 環境省 総合環境政策局 環境経済課長

奈良 松範 諏訪東京理科大学 工学部 教授

西尾チヅル 筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授

山崎 和雄 日刊工業新聞社 論説委員

山口 庸子 共立女子短期大学 生活科学科 教授

以上50音順

### 表彰部門

#### 金賞、銀賞、銅賞

概要	「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰
対象	A. エコマーク認定商品保有企業（エコマーク使用契約者） B. エコマーク商品等の普及に貢献している企業、団体
選考方法	応募のあった団体の中から、「エコマークアワード選考委員会」にて選考
評価ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコマーク商品等の認知度向上への取り組み</li> <li>● エコマーク商品等の市場普及推進への取り組み</li> <li>● エコマーク商品等の普及への取り組みの独自性</li> <li>● エコマーク商品等の普及への取り組みの継続性</li> <li>● エコマーク商品等による環境負荷低減効果</li> </ul>

#### プロダクト・オブ・ザ・イヤー

概要	特に環境性能や先進性、エコフレンドリーデザインなどが優れた商品・サービスを表彰
対象	2014年度、2015年度に認定されたエコマーク認定商品
選考方法	上記エコマーク認定商品から、「エコマークアワード選考委員会」にて選考
評価ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコマークの4つの重点領域「省資源と資源循環」「地球温暖化の防止」「有害物質の制限とコントロール」「生物多様性の保全」のいずれか1つ以上に大きく寄与するもの</li> <li>● その製品を使用することにより消費者の環境意識の向上、又は環境教育へのつながりが期待されるもの</li> <li>● 消費者の購買行動を環境に配慮したものへと誘導することが期待されるもの</li> </ul>

#### GOLD PRIZE

金賞

#### サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社

洗剤の詰め替え容器で25年間エコマーク取得！  
～詰め替えパックの継続採用と環境負荷低減の取り組み～

サラヤ株式会社・東京サラヤ株式会社は、1982年にいち早く洗剤の詰め替え容器を導入し、1991年にはエコマーク認定を取得した。長年にわたり詰め替え容器のマーケット拡大に取り組んでおり、「詰め替え」という環境に配慮したライフスタイルの普及に大きな足跡を残している。主力商品の原料に目を向け、パーム油の認証制度普及や熱帯雨林の保護などの地球規模の環境保全活動を推進し、その成果を商品の開発やブランディングに活かしている。次世代への環境教育や倫理的消費の普及活動にも積極的である。詰め替え容器のほか、リターナブル容器や未利用繊維を使用したふきんなど多様な商品でエコマーク認定を取得しており、エコマークを製品パッケージに表示して積極的にアピールしている点も高く評価された。

#### SILVER PRIZE

銀賞

#### 株式会社オオハシ

プラスチック製敷板「リピーボード」

電力会社が回収した使用済みの電線やケーブルを回収し、被覆材をリサイクルして製造されるプラスチック製の敷板を開発した。従来は建設現場やイベント会場では鉄製の敷板を使用されていたが、用途に応じて「リピーボード」を使用することで、軽量化による輸送時の二酸化炭素排出量も削減できる。廃材を100%活用し、高付加価値化した優れたエコプロダクトであり、市場のニーズをうまく取り込みながら環境負荷低減に貢献している。さらに名刺やパンフレットにエコマークを表示するなど、ビジネス展開における差別化にエコマークを活用している。トラックで通る時の音が小さくなる工夫や、使用後に製品を回収する仕組みなど、弛まぬ企業努力と商品の独自性も高評価を得た。

#### 昭和電工株式会社

プラスチック製容器包装のリサイクルによるアンモニア製造プロセス

消費者が分別・排出したプラスチック製容器包装を、高効率でアンモニアなどの化学製品にリサイクルするプロセスであり、革新的な技術と環境負荷低減効果が高く評価された。製造されるアンモニアなどは企業間で取引される商品（BtoB）であるが、消費者の資源回収への協力が、化学的な工程を経て新たな素材の製造に結びついていることを年間約2,000人にのぼる工場見学の受け入れなどを通じて積極的に広報しており、分別の意義と資源循環の大切さを社会に発信し続けている。今回の表彰対象は、エコマーク初の“製造プロセス認定”であり、優れた環境技術を消費者に伝える手段としてエコマークが活用されている。BtoBと消費者を結びつける新たなコミュニケーションの形としても高く評価された。

#### BRONZE PRIZE

銅賞

#### 川上産業株式会社

∞プチ

川上産業株式会社は、通常一度の使用で廃棄されるプチプチ®（包装用気泡緩衝材）を回収して、再度プチプチ®にリサイクルする仕組みを構築している。引越・運送業者、建築メーカー、家電メーカーでの利用状況などをリサーチの上、地域ごとに、商品の回収→再生→製品化→使用というネットワークに取り組み、地産地消のリサイクルのループを確立している。また、通常、有色の廃プラスチックは有効的にマテリアルリサイクルされることが少ないなか、リサイクルの発想を変えることで、そのままの色を活かして製品開発を進めており、資源循環の優良事例として広く推奨したい取り組みである点が評価された。

#### 株式会社関東

歯ブラシを丸ごと捨てる時代は終わりました エコ歯ブラシ「セグエ」

株式会社関東は、ブラシ部分を交換し、持ち手部分は長く使用することを目的とした歯ブラシを製造している。毎日使用する歯ブラシを環境配慮商品に替えることは、ライフスタイルの見直しや環境への関心を高めることに寄与するものである。また、消費者が日常において環境配慮を意識するきっかけとなるものとして期待される。交換部分を小さくするためのアイデアと、創意工夫を重ねた努力を高く評価したい。商品パッケージにエコマークを大きく表示しており、エコマークを活用して環境配慮商品の普及に取り組む姿勢がうかがえる。